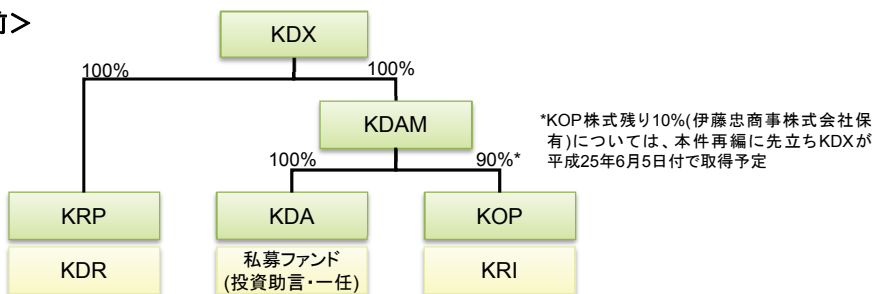


組織再編の目的

- グループ全体の不動産アセットマネジメントに係るノウハウの集約
- 投資対象不動産の取得・運用に係るリソースの戦略的増強によるアセットマネジメント能力の大幅な競争力向上
- 内部管理体制強化による顧客投資家の利益に資する体制構築
- グループ間でのアセットマネジメント業務の効率化

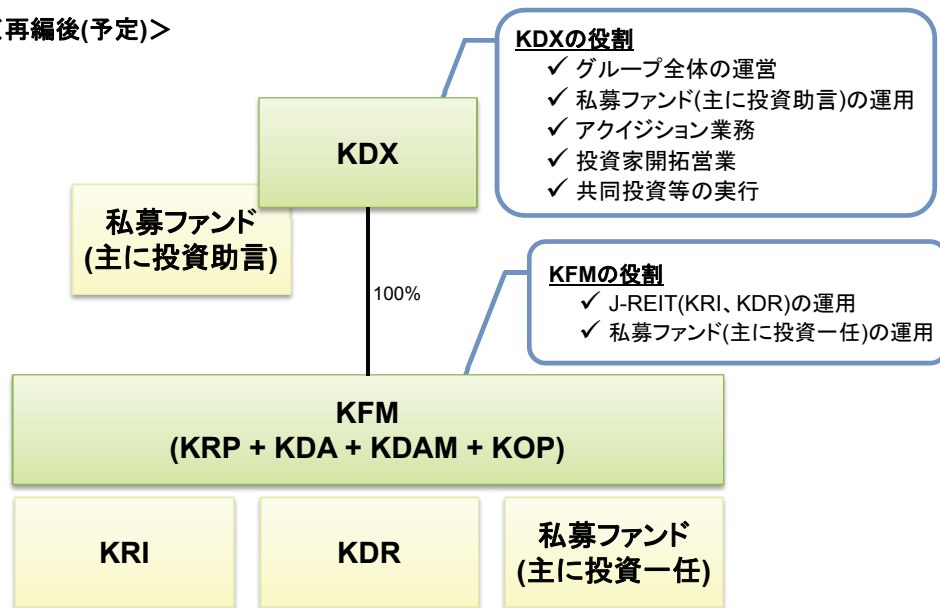
再編前後のケネディクスグループ

<再編前>



KDX:ケネディクス株式会社、KDAM:ケネディクス・アセット・マネジメント株式会社、
 KRP:ケネディクス・レジデンシャル・パートナーズ株式会社、KDA:ケネディクス・アドバイザーズ株式会社、
 KOP:ケネディクス・オフィス・パートナーズ株式会社、KRI:ケネディクス不動産投資法人、
 KDR:ケネディクス・レジデンシャル投資法人

<再編後(予定)>



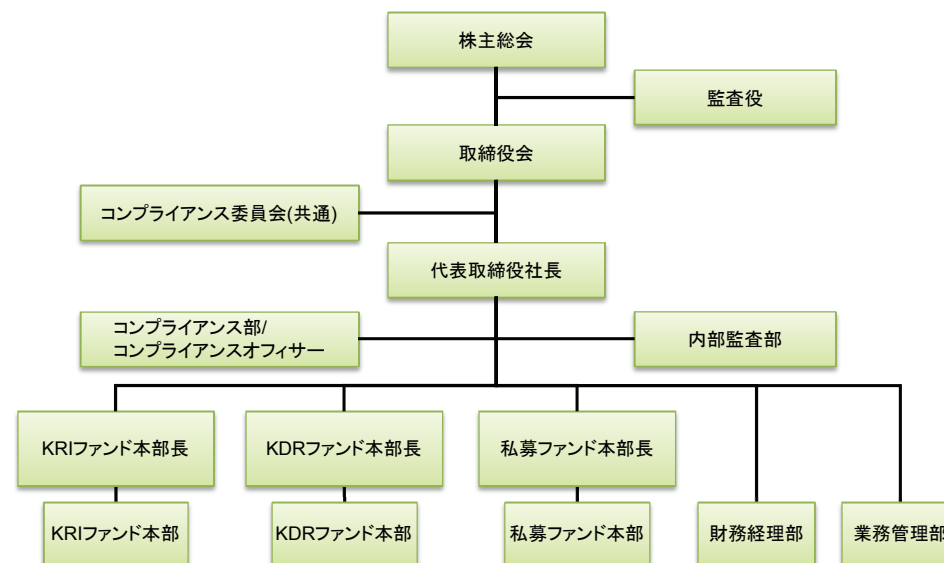
再編の手順

1. KDAを存続会社とするKDAMとの合併
2. KDAの会社分割によるKDXへの事業の承継 (主に投資助言に基づく事業をKDXへ承継)
3. KOP・KRP・KDAの合併とケネディクス不動産投資顧問株式会社(KFM)への商号変更 (KRPが存続会社、KOP及びKDAが消滅会社)

今後の日程

本件再編取締役会及び基本合意書締結日	平成25年7月中旬(予定)
実施予定日(効力発生日)	平成25年10月1日より6か月以内(予定)

ケネディクス不動産投資顧問株式会社(KFM)の組織図(予定)



本資料は、ケネディクス株式会社(以下、「当社」といいます)及び当社グループの事業概要並びに経営戦略に関する情報提供を目的としたものであり、投資の勧誘または勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載された内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。本資料の著作権その他の権利は、特段の断りがない限り、当社に帰属しています。